

企業と人権

～同和問題を改めて考える、いま大切なこと～

西日本新聞社 企画委員

馬場 周一郎

【はじめに】

私は西日本新聞社の記者として、1980年代から同和問題の取材に関わり、以来、人権に関する記事を執筆してきました。しかし、社会の構造変化は旧来の人権概念を超えてさまざまな新しい人権問題を生んでいます。「企業と人権」というテーマもそうです。いまなぜ企業が人権と向かい合わねばならないのでしょうか。本日は、同和問題に対する私のささやかな記者活動をベースにしながら、「企業と人権のいま」を皆さんと一緒に考えていきます。

【1】同和対策審議会答申から50年～同和問題はいまどうなっているのか。

【2】なぜ「企業と人権」なのか～激変する企業環境と人権状況。

【3】人間大事の哲学～結局は「働く人の笑顔」という素朴な公理。